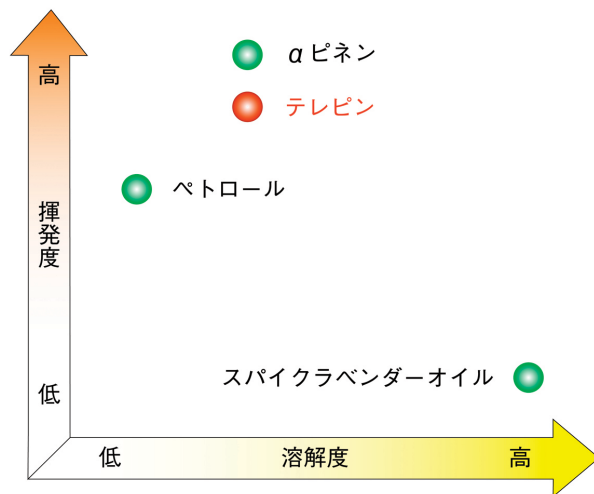




# テレピン

てれぴん



各種揮発性油における揮発度及び溶解度の比較

## 概要

テレピン（ターペントイン：英）は、油彩画の制作において、油絵具の粘性や濃度の調整、乾性油の希釈などに用いられる植物性の画溶液（溶き油）です。

油彩画の画溶液は、主に揮発性油と乾性油の2種類の性質があり、このテレピンは揮発性油に分類され、使用後に成分のほとんどは空気中へ蒸発する性質を持っています。また、樹脂成分などを溶解する性質もあります。内容成分は、松の樹脂（松やに）を蒸留・精製した $\alpha$ ピネン、 $\beta$ ピネン、カンフェン、ジペンテンなどを主成分とした植物性揮発性油です。ペトロール（鉱物性揮発性油）よりも蒸発速度が速く、強い溶解力があります。

テレピンは、油絵の制作工程における「下書き」や「描きはじめ」などの初段階にて主に用いられます。使用の際は、油壺などの容器に乾性油と適量のテレピンで希釈した溶剤を入れ、必要に応じ筆先に溶液を含ませ、その筆先で油絵具と絡ませて適度な粘性や濃度に調節した後、画面に描いていきます。溶液の分量は、描き始めはテレピンの量を多く乾性油を少なめにし、仕上げに向けて徐々にテレピンの割合を減らしていきます。また、他の利用方法として、調合油やニスを自作するとき、樹脂（ダンマル樹脂など）を溶かすための溶剤としても使用します。

使用する際の注意として、テレピンには絵具を支持体に固着させる成分が含まれないため、多用すると絵具の耐久性や固着力が低下したり、油彩画特有の艶などを損なう恐れがあります。また、揮発性や引火性が高いため室内の換気を良くし、火気のある場所での使用は避けましょう。保管の際は、酸化により樹脂化し粘りや黄変が起ることがあるため、容器の栓をしっかりと閉め、高温になる場所を避けましょう。

テレピンは、一般的な画材店で購入することができます。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
I  
J  
K  
L  
M  
N  
O  
P  
Q  
R  
S  
T  
U  
V  
W  
X  
Y  
Z  
数字